



医療法人伯鳳会

大阪中央病院

「虹」

Vol.17

2023.9月



循環器内科とすべての医療機器を管理する ME 室



中央病院 循環器科と ME 室

20 景

循環器内科

当院循環器内科は、動脈硬化を予防かつ治療して健康寿命を延ばすこと、そして高齢化に伴う心不全の増加に対応して的確な治療と予後の改善を図ることを大きな戦略目標としています。

まず動脈硬化の予防に関しては、動脈硬化の基礎疾患である高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、高トリグリセリド血症、肥満を治療することと禁煙は大前提として、頸動脈硬化に対するエコーによる観察や血圧脈波の測定を行い動脈硬化進展の度合いに応じてきめ細かく治療しています。ちなみに2022年度の頸動脈エコー件数は2872例でした。動脈硬化が進展すると心臓であれば狭心症・心筋梗塞、下肢であれば末梢動脈疾患に至るわけですが、それらの疾患群に対しても心臓CT・MRI・運動負荷心電図・エコー等の検査を用いて早期発見・治療にあたっています。2022年度のMDCTの件数は961例でした。日々の弛まぬ診療の結果、2022年度狭心症・心筋梗塞に対する血行再建治療（PCI）件数は215例、末梢動脈疾患に対する血行再建治療（PTA・PTR）件数は22例でした。これらの治療はいずれも重篤な合併症なく終了し、完全閉塞病変で1例だけ血行再建不十分例がありましたが、それ以外は全例完全血行再建に成功しています。



次いで高齢化に伴う心不全の問題に関してですが、加齢に伴い脳の神経細胞や心筋細胞は変性しますが、再生されることはありません。脳の細胞の変性は認知症につながるわけですが、洞結節や房室結節などの心臓のペースメーカー機能を担う部位の心筋細胞が変性すれば徐脈や心停止となり、ペースメーカーの手術が必要となります。2022年度の当院のペースメーカー手術は13例でした。また心房の心筋は心室に比べて量は少なく、この心房細胞が変性すると最終的には心房細動という不整脈になり、色々な合併症を発症する可能性があります。65歳以上の日本人の20人に1人は心房細動になっています。この心房細動を抑え正常の洞リズムを回復するのがカテーテルアブレーション治療です。2022年度当院で79例施行され、大きな合併症なく終了しています。以上のような治療をしても、高齢者の心不全の増加は当院にとって大問題です。2022年度80歳以上の心不全で入院された患者様は33人でした。

以上取り急ぎ当院循環器内科の紹介をさせていただきましたが、当院循環器内科は明るく楽しい診療をモットーに、全力で頑張っております。遠慮なく受診していただき、ご相談に来ていただければ幸いです。

心臓カテーテル検査室 臨床工学課

臨床工学技士は生命維持管理装置の操作及び医療機器全般の保守管理を行う技士です。生命維持管理装置とは、人の呼吸（人工呼吸器）、循環（人工心肺装置）、代謝（血液透析装置）の機能の一部を代替し、補助することが目的とされている装置をいいます。

幅広い業務の中で、心臓カテーテル検査室での臨床工学技士の役割を紹介します。

検査室



レントゲン操作室



ポリグラフ
心電図・血圧などを測定



IVUS：血管内超音波診断装置
血管内を確認・解析する装置



補助循環装置：IABP・PCPS
心臓と肺の補助をする装置



物品
治療で使用する物の管理



この様に、検査で使用する機器の操作・管理を主とした業務を行っています。また、医師・看護師・放射線技師と業務を行っているので、連携を持って業務に携わっています。

また、当院では血液浄化業務を行っており、様々な種類の血液浄化を行っています。中でも家族性高コレステロール血症（FH：難病に指定）の治療（LDLアフェレーシス）を積極的に行っています。大阪大学医学部附属病院とも連携を図り、治験等も行っています。

血液透析は主に検査・手術目的で入院された慢性透析患者様に行っています。LDLは先に述べたFH患者様以外にASO（閉塞性動脈硬化症）の患者様に対しても行っています。他には血漿交換・血液吸着など特殊な血液浄化療法も行っています。



血液浄化装置
(LDLアフェレーシス用)

血液透析装置

放射線課からのお知らせ

胃集団X線検診（いわゆる胃のバリウム検査）用X線撮影装置を今年7月に一部リニューアルしました。
以前より画質向上、被ばくは低減しています。
安全かつ安心な検査で皆様の健康をサポートいたします。

LED工事が終了致しました。

施設課

本年1月よりLED更新工事を実施しておりましたが、7月にLED更新工事を終了致しました。
患者様にはご迷惑をお掛け致しましたが、ご協力の程ありがとうございました。
明るく安全安心な病院づくりを今後も行っていきますので、宜しくお願い致します。

編集後記

当院の診察・治療で大きな部分を占めているのが循環器科です。市内でも有数の検査および件数をこなしています。
心臓カテーテル検査、透析治療や手術で使用する術支援ロボットなどの医療機器全般を管理調整するのがME室です。
高い技術力のスタッフにより当院の臨床は支えられています。

病院レポート 「虹」

2023年9月発行 Vol.17

編集・発行

医療法人伯鳳会大阪中央病院

広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-30

TEL 06-4795-5505（代表）

FAX 06-4795-5544

◆地域連携・入退院支援センター

TEL 06-4795-5533（直通）

FAX 06-4795-5535（専用）



病院ホームページ

医療をつなぎ、未来をつなぐ。多くの命を救うために。



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

#青いハートがあふれる社会を



医療法人伯鳳会
大阪中央病院

HAKUHOKAI Osaka Central Hospital